

1学期がんばったこと

3年松組 佐藤 千奈

わたしが、1学期がんばったことは、図工の授業で絵をかいたことです。わたしは、これまで絵をかくことが苦手でした。なぜなら、思い通りにかくことができなくて、下手になってしまうからです。

だけど、3年生の図工で、「はだしでゆうぐ」というテーマで絵をかくときは、今までとちがいました。まず、顔と手と足を小さな画用紙にかいて、名前ペンでなぞりました。次に大きな画用紙に、顔と手足の絵を置いてから、体や服をかきました。服をかいているときにまわりの子が、「服のがらがうまいね」「上手だね」と言ってほめてくれました。わたしはそのとき、とてもうれしくて、初めて図工のじゅぎょうを好きになることができました。わたしのクラスの子のおかげです。だから、色をぬるときも、絵の具のまぜ方やぬり方に気をつけて、がんばって集中してしあげました。

これからも、みんなに感謝しながら、図工のじゅぎょうを楽しくやりたいと思います。



1学期がんばったこと

3年竹組 山下 真央

私が1学期がんばったことは二つあります。一つ目はリコーダーです。わたしは、リコーダーこう習会のとき、かぜを引いて学校に行くことができませんでした。なので、夕方元気になってからリコーダーの練習をしました。そのけっか、音楽のじゅぎょうのリコーダーでは、うまくふくことができました。そのとき「家でれん習をしておいて本当によかった」と思いました。

二つ目はテストです。今年から理科と社会科がふえたので、テ

スト前は、どの教科でもかならず家で自主勉強をしました。なので、漢字テストではほとんど100点で、一どもさいテストにはなりませんでした。少し前、テストが何まいか返されたとき、全部まん点で、すごくうれしかったです。また、理科のテストは、いつも一問はまちがえていたけれど、そのときは一問もまちがえていませんでした。なので本当にうれしかったです。そして、2学期になっても、3学期になっても良い点数がとれるように、いっしょうけんめいどかし、がんばりたいと思います。



1学期にがんばったこと

6年松組 森 葉月

わたしが1学期にがんばったことは、三つあります。一つ目は自主勉強です。自主勉強では、特に算数をがんばりました。私はもともと算数が苦手でした。5年生の算数は内容が難しく、苦手意識が強くなりました。がんばろうと思っていても、内容が難しくなっていくにつれ、「どうせがんばっても無理だろう」という思いが強く、自主勉強では算数以外のものばかりやっていました。6年生になり、他の教科も難しくなりました。そこで、「苦手だからやらない」ではなく、苦手な算数を中心に、あきらめないでがんばろうと考えました。算数の授業があった日は、家に帰ってから自主勉強で、その日の学習した内容にもう一度取り組み、分かりやすくノートにまとめました。授業中に先生がおっしゃったことを、吹き出しのコメントにしてみたり、大事な言葉を色ペンで強調したりしました。算数の授業で難しいところがあると、友達や先生に教えてもらい、あきらめずにがんばることができました。だから、算数の自主勉強を続けることができました。

二つ目は、通学団での班長の仕事です。入学したばかりの1年生の子が、「学校って楽しい」「明日も学校に行きたい」と思える

ように、優しく接したり声をかけたりしました。私の班は女の子が多く、口げんかがよく起こりました。そのたびに、「班長！」と頼られ、けんかを止めたり仲直りさせたりするのが大変でした。でも、みんな基本的に仲が良く、次の日には笑顔で登校することができました。今では、「班長」と声をかけられるのも、私なら何かできるのだろうと期待されているのだと思っています。初めての班長で大変なこともあったけれど、明るく楽しく登下校することができたのも、班のみんなのおかげです。委員会の仕事で並べることができない日には、「やっておいてあげる」と言ってくれ、私を支えてくれました。私がかんばることができたのは、班のみんなのおかげです。みんなありがとう。

三つ目にかんばったことは、ブラスバンド部での活動です。部活は始まったばかりですが、トランペットのパートリーダーになったので、5年生のとき以上に気合いを入れてやっています。今は、新しくブラスバンド部に入ってきた4年生に、指番号やリズムなどを教えています。はやく覚えてもらうために、みんなを一斉に教えるのではなく、一人ずつ声をかけるようにしています。4年生の子たちは、一生けんめいやっているのです、私も、4、5年生にまけないように、音を大きく出すこと、音をきれいにすることに気をつけて練習しています。

これらのことをがんばれたのは、友達と先生方のおかげです。卒業まで残り8か月、自主勉強も班長の仕事も、ブラスバンド部も、引き続きがんばっていこうと思います。



工夫をした自主勉強ノート

6年竹組 片山 愛梨

私が1学期でがんばったことは、自主勉強です。私は、5年生から自主勉強をがんばってきました。昨年の自主勉強では、テストの予習やテストでまちがえたところの見直しをしたり、家庭科の料理の作り方を書いたりという自分のための自主勉強でした。だけど今年からは、昨年の自主勉強から少し変えてみました。それは、私のクラスでは自主勉強コンテストというものがあるからです。誰もが見やすく、そして内容が分かりやすいということに気をつけて書くようになりました。色ペンは3色までと決めて、特に大事なところには赤色を使うようにしています。また、参考書や本、インターネットから、みんなが知らないような豆知識を調べて自主勉ノートに書いています。写真やイラストを用いて、後から見てもどんな内容だったのかということが分かるようにもしています。

最近では、音楽が好きな私は、音楽専用自主勉ノートを作り音楽の歴史や人物、だれがいつ何を作曲したかということ、詳しく書いています。まだ始めたばかりなので、音楽の先生からのアドバイスや資料を参考に、自分なりに工夫をした自主勉ノートにしたいと思っています。

今年の自主勉ノートは、ただ勉強の予習や復習だけでなく、興味をもったことや、ふだんの生活で気付いたことをくわしく調べたりもしています。始めたころの自主勉ノートとくらべてみると、国語の漢字では、とめ、はね、はらい、書き順を特に気をつけて書くようになりました。算数では、文章問題を中心にして、公式を色分けし区別して書いています。理科では、実験イラストや資料をはりつけてポイントをまとめています。社会では、ふだん使わない漢字や読み方が出てくるので色分けして覚えています。

誰もが見て分かりやすく、理解しやすいノートを、これからも工夫し続けていこうと思います。

